

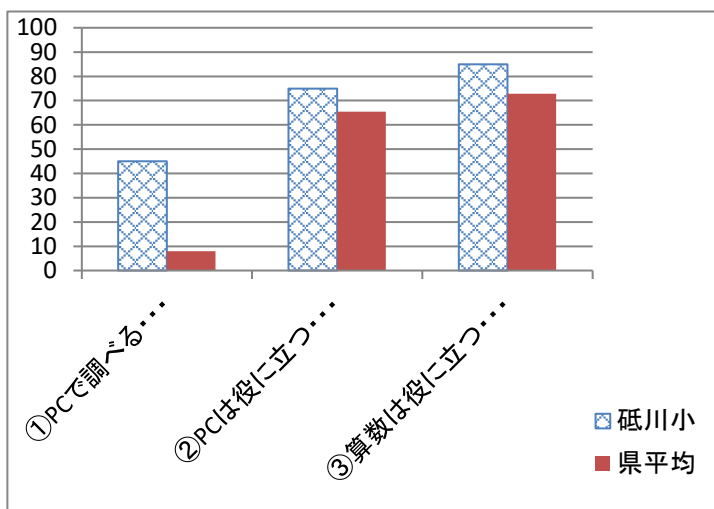
令和4年度5月実施

6年生 全国学力・学習状況調査結果及び分析、今後の取り組みについて

◆生活習慣に関する「質問紙(意識)調査」から

【全国と比べて高かった項目】

| 調査の項目 | |
|-------|--|
| ① | 学校で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。 |
| ② | 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。 |
| ③ | 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 |



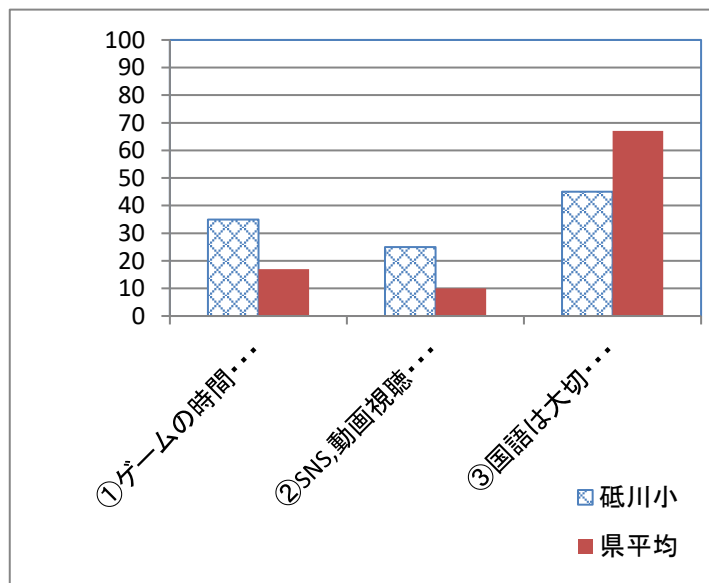
さらなる向上に向けた取組

①【タブレットなどのICT機器を使う】
 ②【タブレットは、学習の中で役に立つ】
 ・「GIGAスクール構想を受け、Chromebookの活用をさらに進めていく。」

③【算数の授業は将来役に立つ】
 ・「考える」「学び合い活動」など『わかる授業』に取り組んだり、算数タイム、Chromebookの活用に取り組んだりして学力を高めていく。

【全国と比べて低かった項目】

| | |
|---|--|
| ① | 平日1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。 |
| ② | 平日1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。 |
| ③ | 国語の勉強は大切だと思いますか。 |



改善に向けた取組

①②【ゲーム、SNS、動画視聴の時間...】
 ・ゲーム、SNS、動画視聴の時間が県平均の2倍になっている。学習や読書の時間と反比例になる傾向があるので、家庭への協力を呼びかけていく。
 ・PTAと協力して、「早寝、早起き、朝ごはん」を呼びかけていく。

③【国語は大切...】
 ・学校、家庭、地域で読書に取り組んだり、文字・日本語の良さにふれる。
 ・漢字の読み書きに取り組み、語彙数を増やし、苦手意識を減らしていく。

◆令和4年度全国学力・学習状況調査《 6年生 国語科 》

全体の概要

- ・「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと聞くこと」は、県平均とほぼ同じである。
- ・「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」、「読むこと」は、県平均をかなり下回っている。
- ・記述式の問題は、正答率は県平均をかなり下回り、無回答率が多い。

| 観点 | 分析結果・自校の課題 | 改善に向けた具体的取り組み |
|----------|--|--|
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文章の中で正しく使う問題では、県平均をかなり下回っている。 ・話し言葉と書き言葉との違いを理解したり、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えたりすることは、県平均をかなり下回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章を丁寧に音読することで、書かれている言葉を語彙として習得させる。 ・学年に応じた読書に取り組みさせる。 ・普段から漢字や言葉に親しめるような環境の中で生活させる。 ・「ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語」などの言葉の学習に加え、短文作りに取り組みさせる。 |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・互いの立場や意図を明確にしながらい計画的に話し合い、自分の考えをまとめることは、県平均をやや上回っている。 ・登場人物を目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む問題では、県平均をかなり下回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業や家庭学習で、構成や展開を考えたスピーチや作文に取り組みさせる。(条件作文等) ・読書を量より質に取り組みさせる。書かれている内容を丁寧に読む習慣や同じ本を何度も読み直す習慣をつけることで、書かれている内容や言葉に反応させる。 |

◆令和4年度全国学力・学習状況調査《 6年生 算数科 》

全体の概要

- ・学習指導要領の「数と計算」データの活用」の領域で県平均をかなり下回っている。
- ・学習指導要領の「図形」の領域で県平均をやや上回っている。
- ・見開き1ページ等、問題の文章が多くなると、解答率や正答率が低くなる傾向がある。

| 観点 | 分析結果・自校の課題 | 改善に向けた具体的取り組み |
|-------|--|---|
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・乗法の計算、最小公倍数、割合を求める問題は県平均をやや上回っている。 ・表やグラフを使って比べたり求めたりする問題は県平均をかなり下回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童に自分の得意分野、苦手分野を意識させ、自学や算数タイム等で復習に取り組みさせる。 ・クロムブックの学研ドリルで基礎基本の問題に繰り返し取り組みさせる。文章量や資料が多い問題に取り組みさせる。 |

| | | |
|-----------------|--|---|
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 百分率で表された割合を分数にしたり、表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目したりする問題は県平均をかなり下回っている。 記述で答える問題は、県平均をかなり下回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業中に、図を書く習慣をつけさせることで、問題のイメージ化を図らせる。 学習問題に取り組むときに、自分の考えを記述したり、友達に説明したり交流活動を行わせる。 クロムブックのジャムボードを活用し、図や式で考えをまとめ、説明する活動に取り組ませる。 |
|-----------------|--|---|

◆令和4年度全国学力・学習状況調査《 6年生 理科 》

全体の概要

- 学習指導要領の区分・全領域で県平均を下回っている。
- 知識技能に関する問題では、県平均とほぼ同じである。

| 観点 | 分析結果・自校の課題 | 改善に向けた具体的取り組み |
|-----------------|--|--|
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 器具の名前や使い方、光や水の性質の問題では、県平均をかなり上回っている。 実験の過程や得られた結果から、問題解決に必要な記録を適切に選ぶ問題では、県平均をかなり下回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 問題解決を通して習得した知識を使って、日常生活の関わりの中で捉え直す場面を設定する。 問題に対するまとめを導き出すことができるように、観察、実験の具体的な数値を適切に記録するようにする。 |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、自分の考えをもち、その内容を記述する問題については、県平均をやや上回っている。 問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基に記述する問題では、県平均をやや上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 自然の事物、現象に働きかけて得た事物について話合う中で、自分や他者の気づきを基に差異点や共通点を捉え、問題を見いだす場面を設定する。 観察、実験の結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設定する。 |